



HSBRX24T-100

HSBRX24T-80

取扱説明書

ルネサス エレクトロニクス社 RX24T(QFP-100ピン, QFP-80ピン)搭載
HSB シリーズマイコンボード

-本書を必ずよく読み、ご理解された上でご利用ください

株式会社 **北斗電子**
REV.1.0.2.0

注意事項	1
安全上のご注意	2
特徴	4
概要	5
製品内容	5
1. 仕様	6
1.1. 仕様概要	6
1.2. ボード配置図	8
1.3. ブロック図	9
2. 詳細	10
2.1. 電源(J5)	10
2.2. 信号インタフェース	11
2.2.1. エミュレータインタフェース(J3)	11
2.2.2. 拡張 I/O インタフェース(J1,J2)	12
2.2.3. フラッシュインタフェース(J4)	16
2.3. ユーザインタフェース	17
2.3.1. リセットスイッチ(SW1)	17
2.4. 動作モード	17
3. 付録	18
3.1. ボード寸法図	18
3.2. 初期設定	19
取扱説明書改定記録	20
お問合せ窓口	20

注意事項

本書を必ずよく読み、ご理解された上でご利用ください

【ご利用にあたって】

1. 本製品をご利用になる前には必ず取扱説明書をよく読んで下さい。また、本書は必ず保管し、使用上不明な点がある場合は再読み、よく理解して使用して下さい。
2. 本書は株式会社北斗電子製マイコンボードの使用方法について説明するものであり、ユーザシステムは対象ではありません。
3. 本書及び製品は著作権及び工業所有権によって保護されており、全ての権利は弊社に帰属します。本書の無断複製・複製・転載はできません。
4. 弊社のマイコンボードの仕様は全て使用しているマイコンの仕様に準じております。マイコンの仕様に関しましては製造元にお問い合わせ下さい。弊社製品のデザイン・機能・仕様は性能や安全性の向上を目的に、予告無しに変更することがあります。また価格を変更する場合や本書の図は実物と異なる場合もありますので、御了承下さい。
5. 本製品のご使用にあたっては、十分に評価の上ご使用下さい。
6. 未実装の部品に関してはサポート対象外です。お客様の責任においてご使用下さい。

【限定保証】

1. 弊社は本製品が頒布されているご利用条件に従って製造されたもので、本書に記載された動作を保証致します。
2. 本製品の保証期間は購入戴いた日から1年間です。

【保証規定】

保証期間内でも次のような場合は保証対象外となり有料修理となります

1. 火災・地震・第三者による行為その他の事故により本製品に不具合が生じた場合
2. お客様の故意・過失・誤用・異常な条件でのご利用で本製品に不具合が生じた場合
3. 本製品及び付属品のご利用方法に起因した損害が発生した場合
4. お客様によって本製品及び付属品へ改造・修理がなされた場合

【免責事項】

弊社は特定の目的・用途に関する保証や特許権侵害に対する保証等、本保証条件以外のものは明示・黙示に拘わらず一切の保証は致し兼ねます。また、直接的・間接的損害金もしくは欠陥製品や製品の使用方法に起因する損失金・費用には一切責任を負いません。損害の発生についてあらかじめ知らされていた場合でも保証は致し兼ねます。

ただし、明示的に保証責任または担保責任を負う場合でも、その理由のいかんを問わず、累積的な損害賠償責任は、弊社が受領した対価を上限とします。本製品は「現状」で販売されているものであり、使用に際してはお客様がその結果に一切の責任を負うものとします。弊社は使用または使用不能から生ずる損害に関して一切責任を負いません。

保証は最初の購入者であるお客様ご本人にのみ適用され、お客様が転売された第三者には適用されません。よって転売による第三者またはその為になすお客様からのいかなる請求についても責任を負いません。

本製品を使った二次製品の保証は致し兼ねます。

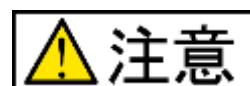
安全上のご注意

製品を安全にお使いいただくための項目を次のように記載しています。絵表示の意味をよく理解した上でお読み下さい。

表記の意味



取扱を誤った場合、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる可能性がある事が想定される



取扱を誤った場合、人が軽傷を負う可能性又は、物的損害のみを引き起こすが可能性がある事が想定される

絵記号の意味

	<p>一般指示 使用者に対して指示に基づく行為を強制するものを示します</p>		<p>一般禁止 一般的な禁止事項を示します</p>
	<p>電源プラグを抜く 使用者に対して電源プラグをコンセントから抜くように指示します</p>		<p>一般注意 一般的な注意を示しています</p>

警告



以下の警告に反する操作をされた場合、本製品及びユーザシステムの破壊・発煙・発火の危険があります。マイコン内蔵プログラムを破壊する場合があります。

1. 本製品及びユーザシステムに電源が入ったままケーブルの抜き差しを行わないでください。
2. 本製品及びユーザシステムに電源が入ったままで、ユーザシステム上に実装されたマイコンまたはIC等の抜き差しを行わないでください。
3. 本製品及びユーザシステムは規定の電圧範囲でご利用ください。
4. 本製品及びユーザシステムは、コネクタのピン番号及びユーザシステム上のマイコンとの接続を確認の上正しく扱ってください。



発煙・異音・異臭にお気づきの際はすぐに使用を中止してください。

電源がある場合は電源を切って、コンセントから電源プラグを抜いてください。そのままご使用すると火災や感電の原因になります。

注意



以下のことをされると故障の原因となる場合があります。

1. 静電気が流れ、部品が破壊される恐れがありますので、ボード製品のコネクタ部分や部品面には直接手を触れないでください。
2. 次の様な場所での使用、保管をしないでください。
ホコリが多い場所、長時間直射日光があたる場所、不安定な場所、衝撃や振動が加わる場所、落下の可能性がある場所、水分や湿気の多い場所、磁気を発するものの近く
3. 落としたり、衝撃を与えたり、重いものを乗せないでください。
4. 製品の上に水などの液体や、クリップなどの金属を置かないでください。
5. 製品の傍で飲食や喫煙をしないでください。



ボード製品では、裏面にハンダ付けの跡があり、尖っている場合があります。

取り付け、取り外しの際は製品の両端を持ってください。裏面のハンダ付け跡で、誤って手など怪我をする場合があります。



CD メディア、フロッピーディスク付属の製品では、故障に備えてバックアップ（複製）をお取りください。

製品をご使用中にデータなどが消失した場合、データなどの保証は一切致しかねます。



アクセスランプがある製品では、アクセスランプが点灯中に電源の切断や、パソコンのリセットをしないでください。

製品の故障の原因やデータ消失の恐れがあります。



本製品は、医療、航空宇宙、原子力、輸送などの人命に関わる機器やシステム及び高度な信頼性を必要とする設備や機器などに用いられる事を目的として、設計及び製造されておりません。

医療、航空宇宙、原子力、輸送などの設備や機器、システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身や火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社では責任を負いかねます。お客様ご自身にて対策を期されるようご注意ください。

特徴

本製品は、フラッシュメモリ内蔵のルネサス エレクトロニクス製 RX24T (QFP-100 ピン, QFP-80 ピン) マイコン搭載ボードです。

100 ピンのチップを搭載した、HSBRX24T-100 をベースとし、80 ピン版の HSBRX24T-80 というバリエーションもございます。

2 種のボードは、ボードサイズ、コネクタ、拡張 I/O に互換性がございます。

RX24T は、FPU 及び 16 ビットの拡張タイマを搭載しており、モータ制御に適したマイコンです。また、RX23T では、モータを 1 つ駆動する構成でしたが、RX24T ではモータを 2 つ駆動する事が可能です。

概要

- ・ RX24T(QFP-100ピン, QFP-80ピン)搭載
- ・ エミュレータインタフェース(14P)搭載(E1/E20向け)
- ・ フラッシュインタフェース(20P)搭載
- ・ リセットスイッチ搭載
- ・ 20MHz 水晶振動子搭載

製品内容

本製品は、下記の品が同梱されております。ご使用前に必ず内容物をご確認ください。

・マイコンボード	1 枚
・DC 電源ケーブル.....	1 本
※2P コネクタ片側圧着済み 30cm(JST)	
・回路図	1 部

1. 仕様

1.1. 仕様概要

マイコン ボード型名	HSBRX24T-100 HSBRX24T-80
マイコン	RX24T グループ (100ピン QFP) RX24T グループ (80ピン QFP) マイコンの詳細は「表 1-1 搭載マイコン」及びルネサス エレクトロニクス当該マイコンハードウェアマニュアルをご参照ください。
クロック	内部最大 80MHz (実装水晶振動子 入力周波数:20MHz)
エミュレータ	エミュレータインタフェース (J4 14P コネクタ実装済)
拡張 I/O	50PIN × 1 個 (J1, ピンヘッダ未実装) 40PIN × 1 個 (J2, ピンヘッダ未実装)
ボード電源電圧	2.7~5V
消費電流 実測値	28 mA (出荷前デモプログラム動作時での実測値、5V印加時)
ボード寸法	75.0 × 46.5 (mm) 突起部含まず

本ボードの実装コネクタについては「表 1-2 コネクタと適合コネクタ」をご参照ください。
その他の主な実装部品については「表 1-3 その他主な実装部品」をご参照ください。

本ボードには「表 1-1 搭載マイコン」のマイコンが搭載されています。必ず搭載マイコンの記載型名をご確認ください。

表 1-1 搭載マイコン

製品型名	搭載マイコン型名	Code Flash	RAM	動作周波数	マイコン電圧	パッケージ(*2)
HSBRX24T-100	R5F524T AADFP	256KB	16KB	80MHz	2.7~5.5V	PLQP0100KB-A
HSBRX24T-80	R5F524T AADFN					PLQP0080KB-A

・搭載可能マイコンのバリエーション

8文字目	コードフラッシュメモリ/RAM/データフラッシュメモリ
A	256KB/16KB/8KB ●
8	128KB/16KB/8KB

11~12文字目	パッケージ
FP	LFQFP-100pin/0.5mm pitch
FN	LFQFP-80pin/0.5mm pitch

(*2)パッケージはRENESAS Code 表記
JEITA 表記では、
P-LFQFP100-14x14-0.50
P-LFQFP80-12x12-0.50

左表にあるマイコンは本ボードに搭載
可能です

●:本ボードで採用しているマイコン

表 1-2 コネクタと適合コネクタ

コネクタ	実装コネクタ型名	メーカー	極数	適合コネクタ	メーカー	
J1	拡張 I/O インタフェース	-	50			
J2	拡張 I/O インタフェース	-	40			
J3	エミュレータインタフェース	H310-014P	Conser	14	FL14A2FO 準拠	OKI 電線、または準拠品
J4	フラッシュインタフェース	H310-020P	Conser	20	FL20A2FO 準拠	OKI 電線、または準拠品
J5	DC 電源	B2B-XH-A	JST	2	XHP-2	JST

J3 は Conser 社製もしくは互換品 (MIL 規格準拠 2.54mm ピッチボックスプラグ 切欠 中央1箇所) を使用。J3 エミュレータインタフェースはルネサス エレクトロニクス製 E1 で動作確認済。

表 1-3 その他主な実装部品

部品番号	部品	型名	メーカー	備考
X1	水晶振動子	HC-49/S3 20MHz		メインクロック

※主な実装部品に関しては、互換品とする場合があります

1.2. ボード配置図

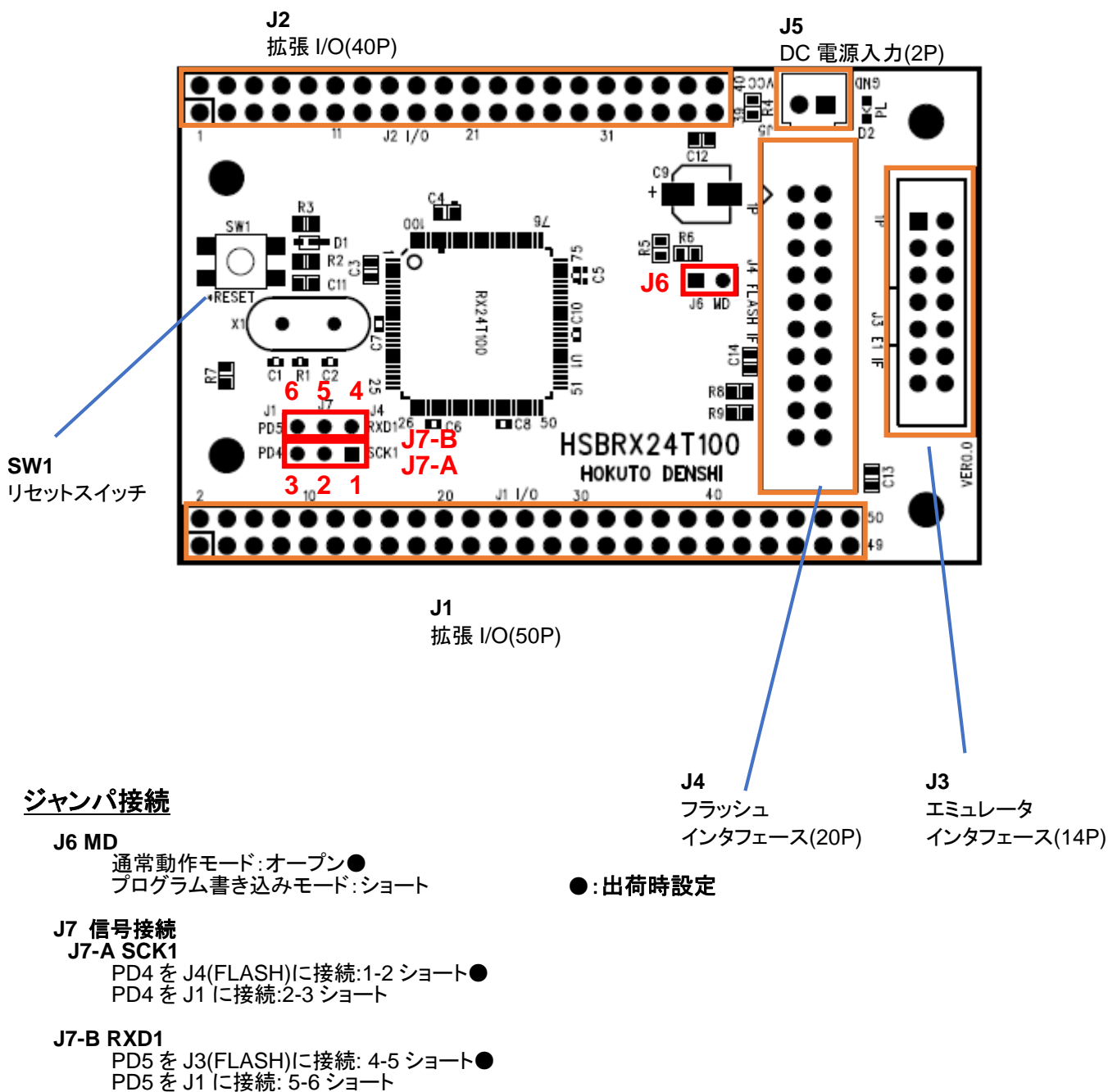


図 1-1 ボード配置図

図 1-1 にボード配置図を示します。

※図 1-1 は、100 ピンのボードですが、82 ピンのボードレイアウトも同一です

1.3. ブロック図

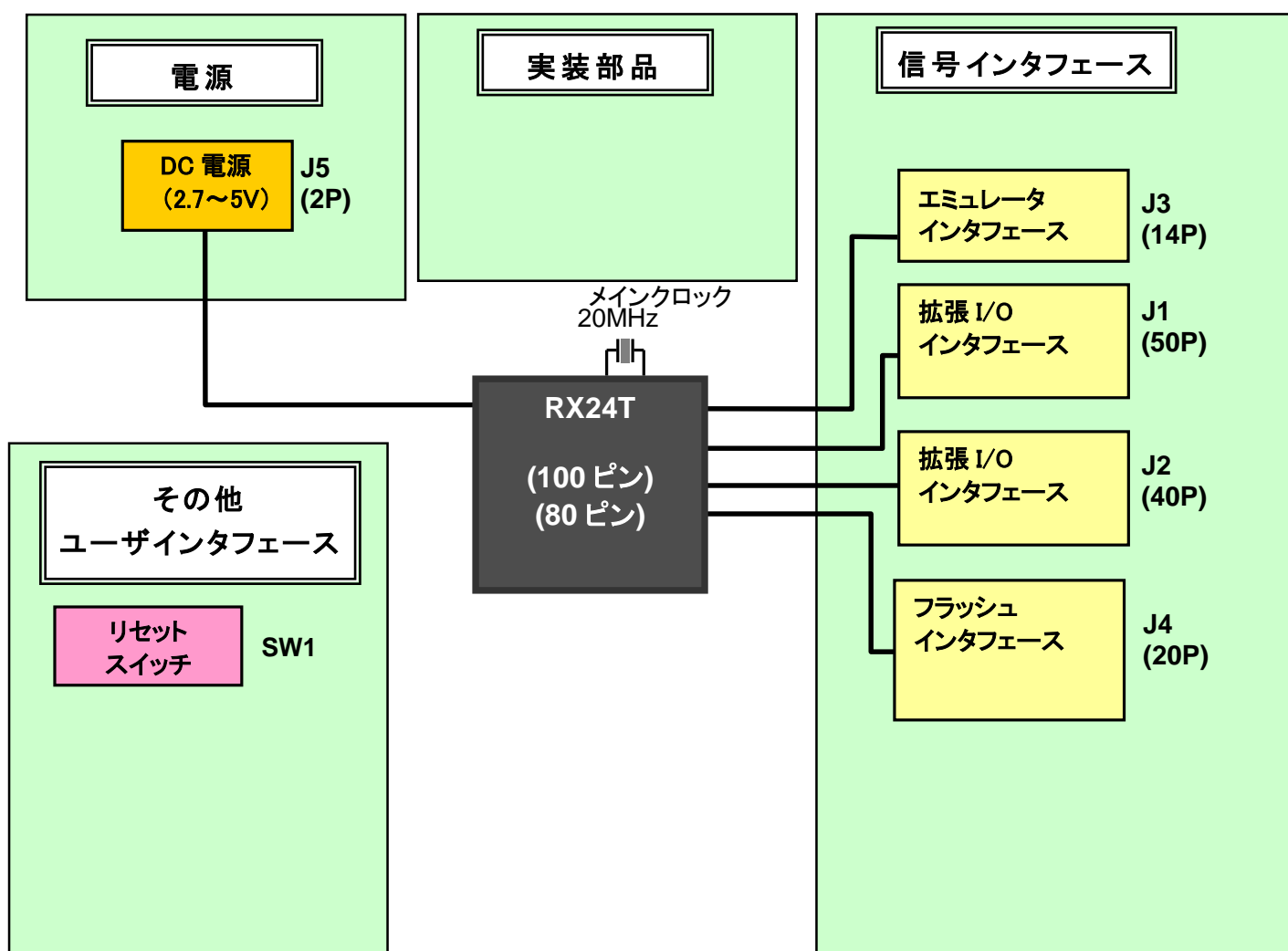


図 1-3 ブロック図

図 1-3 に全体のブロック図を示します。

2. 詳細

2.1. 電源(J5)

J5 DC 電源コネクタから電源供給してください(+2.7~5V)。

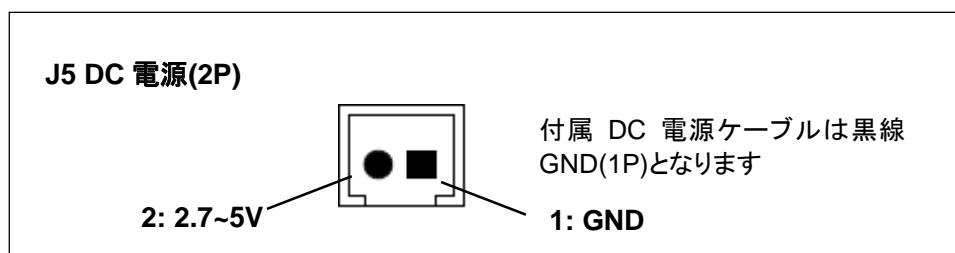
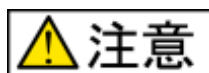


図 2-1 DC 電源コネクタ

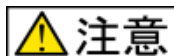


電源の極性及び過電圧には十分にご注意下さい

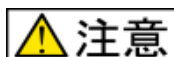
- ・ ボードに電源を供給する場合は、複数箇所からの電源供給を行わないで下さい。製品の破損、故障の原因となります。
- ・ 極性を誤ったり、規定以上の電圧がかかると、製品の破損、故障、発煙、火災の原因となります。
- ・ ボード破損を避けるために、電圧を印加する場合には 2.7~5V+0.5V の範囲になるようにご注意ください。

2.2. 信号インタフェース

信号インタフェースの電圧レベルご注意ください。



注意
 入力信号の振幅がマイコン VCC を超えないようご注意ください。
 規定以上の振幅の信号が入力された場合、永久破損の原因となります。
 ※詳細はマイコンのハードウェアマニュアルを参照願います。



注意
 1つの信号線に複数のデバイスが出力することのないようにしてください。
 拡張 I/O 等で、信号出力が衝突する事は、ボード破壊の原因となりますのでご注意ください。

2.2.1. エミュレータインタフェース(J3)

本ボードには J3 にエミュレータインタフェースコネクタが標準搭載されています。本インタフェースは、E1(ルネサスエレクトロニクス製)にて動作確認済みです。エミュレータの使用方法等についてはエミュレータの取扱説明書をご確認ください。

本インタフェースの信号表については、下記表 2-1 をご参照ください。

表 2-1A エミュレータインタフェース信号表 (J3) (HSBRX24T-100)

No	マイコン ピン番号	信号名	No	マイコン ピン番号	信号名
1	-	(NC)	2	-	GND
3	-	(NC)	4	-	(NC)
5	22	PD3/TXD1	6	-	(NC)
7	6	MD	8	-	VCC
9	-	(NC)	10	-	(NC)
11	-	RXD1	12	-	GND
13	10	*RES	14	-	GND

*は負論理です。(NC)は未接続です。

表 2-1B エミュレータインタフェース信号表 (J3) (HSBRX24T-80)

No	マイコン ピン番号	信号名	No	マイコン ピン番号	信号名
1	-	(NC)	2	-	GND
3	-	(NC)	4	-	(NC)
5	19	PD3/TXD1	6	-	(NC)
7	5	MD	8	-	VCC
9	-	(NC)	10	-	(NC)
11	-	RXD1	12	-	GND
13	9	*RES	14	-	GND

*は負論理です。(NC)は未接続です。

2.2.2. 拡張 I/O インタフェース(J1,J2)

本ボードには J1, J2 に MIL 規格準拠 2.54mm ピッチの拡張 I/O インタフェースを用意しております。

ご注意: 各端子の特性をお調べの上、お客様の責任の下でご使用ください。

本インタフェースの信号表については、下記の表 2-2~2-3 をご参照ください。

表 2-2A 拡張 I/O インタフェース信号表 (J1) (HSBRX24T-100)

No	マイコン ピン番号	信号名	No	マイコン ピン番号	信号名
1	15	PE2/*POE10	2	16	PE1/MTIOC9D
3	17	PE0/MTIOC9B	4	18	PD7/MTIOC9A
5	19	PD6/MTIOC9C	6	(20)	PD5/TMRI0 (*1)
7	(21)	PD4/TMCI0 (*1)	8	22	PD3/TXD1
9	23	PD2/TMCI1	10	24	PD1/TMO2
11	25	PD0/TMO6	12	26	PB7/SCK5
13	27	PB6/RXD5	14	28	PB5/TXD5
15	30	PB4/*POE8	16	32	PB3/MTIOC0A
17	33	PB2/MTIOC0B	18	34	PB1/MTIOC0C
19	35	PB0/MTIOC0D	20	36	PA5/MTIOC1A
21	37	PA4/MTIOC1B	22	38	PA3/MTIOC2A
23	39	PA2/MTIOC2B	24	40	PA1/MTIOC6A
25	41	PA0/MTIOC6C	26	43	P96/*POE4
27	45	P95/MTIOC6B	28	46	P94/MTIOC7A
29	47	P93/MTIOC7B	30	48	P92/MTIOC6D
31	49	P91/MTIOC7C	32	50	P90/MTIOC7D
33	51	P76/MTIOC4D	34	52	P75/MTIOC4C
35	53	P74/MTIOC3D	36	54	P73/MTIOC4B
37	55	P72/MTIOC4A	38	56	P71/MTIOC3B
39	57	P70/*POE0	40	58	P33/MTIOC3A
41	59	P32/MTIOC3C	42	61	P31/MTIOC0A
43	63	P30/MTIOC0B	44	64	P24/MTIC5U
45	65	P23/MTIC5V	46	66	P22/MTIC5W
47	-	VCC	48	-	VCC
49	-	GND	50	-	GND

*は負論理です。(NC)は未接続です。

(*1)ジャンパの設定により接続されます

表 2-2B 拡張 I/O インタフェース信号表 (J1) (HSBRX24T-80)

No	マイコン ピン番号	信号名	No	マイコン ピン番号	信号名
1	14	PE2/*POE10	2	-	(NC)
3	-	(NC)	4	15	PD7/MTIOC9A
5	16	PD6/MTIOC9C	6	(17)	PD5/TMRI0 (*1)
7	(18)	PD4/TMCI0 (*1)	8	19	PD3/TXD1
9	20	PD2/TMCI1	10	-	(NC)
11	-	(NC)	12	-	(NC)
13	21	PB6/RXD5	14	22	PB5/TXD5
15	24	PB4/*POE8	16	26	PB3/MTIOC0A
17	27	PB2/MTIOC0B	18	28	PB1/MTIOC0C
19	29	PB0/MTIOC0D	20	30	PA5/MTIOC1A
21	-	(NC)	22	31	PA3/MTIOC2A
23	-	(NC)	24	-	(NC)
25	-	(NC)	26	33	P96/*POE4
27	35	P95/MTIOC6B	28	36	P94/MTIOC7A
29	37	P93/MTIOC7B	30	38	P92/MTIOC6D
31	39	P91/MTIOC7C	32	40	P90/MTIOC7D
33	41	P76/MTIOC4D	34	42	P75/MTIOC4C
35	43	P74/MTIOC3D	36	44	P73/MTIOC4B
37	45	P72/MTIOC4A	38	46	P71/MTIOC3B
39	47	P70/*POE0	40	-	(NC)
41	-	(NC)	42	49	P31/MTIOC0A
43	51	P30/MTIOC0B	44	52	P24/MTIC5U
45	53	P23/MTIC5V	46	54	P22/MTIC5W
47	-	VCC	48	-	VCC
49	-	GND	50	-	GND

*は負論理です。(NC)は未接続です。

(*1)ジャンパの設定により接続されます

表 2-3A 拡張 I/O インタフェース信号表 (J2) (HSBRX24T-100)

No	マイコン ピン番号	信号名	No	マイコン ピン番号	信号名
1	10	*RES	2	9	PE3/MTCLKD
3	8	PE4/MTCLKC	4	7	P01/*POE12
5	4	P00/IRQ2	6	2	P02/MTIOC9D
7	1	PE5/TRQ0	8	100	P10/MTIOC8B
9	99	P11/MTIOC3A	10	98	P80/MTIC5W
11	97	P81/MTIC5V	12	96	P82/MTIC5U
13	-	AGND	14	-	AGND
15	91	P40/AN000	16	90	P41/AN001
17	89	P42/AN002	18	88	P43/AN003
19	87	P44/CMPC10	20	86	P45/CMP02
21	85	P46/CMPC12	22	84	P47/AN103
23	83	P50/AN206	24	82	P51/AN207
25	81	P52/AN208	26	80	P53/AN209
27	79	P54/AN210	28	78	P55/AN211
29	77	P60/AN200	30	76	P61/AN201
31	75	P62/AN202	32	74	P63/AN203
33	70	P64/AN204	34	69	P65/AN205
35	68	P20/MTCLKB	36	67	P21/MTCLKA
37	-	VCC	38	-	VCC
39	-	GND	40	-	GND

*は負論理です。(NC)は未接続です。

表 2-3B 拡張 I/O インタフェース信号表 (J2) (HSBRX24T-80)

No	マイコン ピン番号	信号名	No	マイコン ピン番号	信号名
1	9	*RES	2	8	PE3/MTCLKD
3	7	PE4/MTCLKC	4	6	P01/*POE12
5	3	P00/IRQ2	6	1	P02/MTIOC9D
7	-	(NC)	8	80	P10/MTIOC8B
9	79	P11/MTIOC3A	10	-	(NC)
11	-	(NC)	12	-	(NC)
13	-	AGND	14	-	AGND
15	74	P40/AN000	16	73	P41/AN001
17	72	P42/AN002	18	71	P43/AN003
19	70	P44/CMPC10	20	69	P45/CMP02
21	68	P46/CMPC12	22	67	P47/AN103
23	66	P50/AN206	24	65	P51/AN207
25	64	P52/AN208	26	63	P53/AN209
27	62	P54/AN210	28	61	P55/AN211
29	-	(NC)	30	-	(NC)
31	60	P62/AN202	32	-	(NC)
33	-	(NC)	34	-	(NC)
35	56	P20/MTCLKB	36	55	P21/MTCLKA
37	-	VCC	38	-	VCC
39	-	GND	40	-	GND

*は負論理です。(NC)は未接続です。

・ジャンパ

SCK

No	接続	設定	備考
J7-A	1-2 ショート●	PD4/SCK1 を J4(FLASH I/F) SCK1 に接続	
	2-3 ショート	PD4/SCK1 を拡張 I/O ポート(J1-7)に接続	

RXD1

No	接続	設定	備考
J7-B	4-5 ショート●	PD5/RXD1 を J4(FLASH I/F) RXD1 に接続	
	5-6 ショート	PD5/RXD1 を拡張 I/O ポート(J1-6)に接続	

● : 出荷時設定

2.2.3. フラッシュインタフェース(J4)

本ボードにはJ4 にフラッシュインタフェースコネクタ(20P)が搭載されています。
 弊社ライター製品(*1)と接続して、マイコン内蔵フラッシュメモリに書込みが可能です。

(*1)2016/7 現在、対応予定

本インタフェースの信号表については、下記表をご参照ください。

表 2-4A フラッシュインタフェース信号表 (J4) (HSBRX24T-100)

No	マイコン ピン番号	信号名	No	マイコン ピン番号	信号名
1	10	*RES	2	-	GND
3	-	(NC)	4	-	GND
5	6	MD	6	-	GND
7	-	(NC)	8	-	GND
9	-	(NC)	10	-	GND
11	-	(NC)	12	-	GND
13	-	(NC)	14	-	GND
15	22	PD3/TXD1	16	-	GND
17	(20)	RXD1 (*1)	18	-	VCC
19	(21)	SCK1 (*1)	20	-	VCC

*は負論理です。(NC)は未接続です。

(*1)ジャンパの設定により接続されます

表 2-4B フラッシュインタフェース信号表 (J4) (HSBRX24T-80)

No	マイコン ピン番号	信号名	No	マイコン ピン番号	信号名
1	9	*RES	2	-	GND
3	-	(NC)	4	-	GND
5	5	MD	6	-	GND
7	-	(NC)	8	-	GND
9	-	(NC)	10	-	GND
11	-	(NC)	12	-	GND
13	-	(NC)	14	-	GND
15	19	PD3/TXD1	16	-	GND
17	(17)	RXD1 (*1)	18	-	VCC
19	(18)	SCK1 (*1)	20	-	VCC

*は負論理です。(NC)は未接続です。

(*1)ジャンパの設定により接続されます

2.3. ユーザインタフェース

2.3.1. リセットスイッチ(SW1)

本ボードは SW1 にリセットスイッチを搭載しており、スイッチを押すことにより、マイコンをリセット可能となっております。

表 2-4A リセットスイッチ信号表 (SW1) (HSBRX24T-100)

スイッチ	マイコン ピン番号	信号名	備考
SW1	10	*RES	リセット

*は負論理です。

表 2-4B リセットスイッチ信号表 (SW1) (HSBRX24T-80)

スイッチ	マイコン ピン番号	信号名	備考
SW1	9	*RES	リセット

*は負論理です。

2.4. 動作モード

・ジャンパ

MD

No	接続	設定	備考
J6	オープン●	シングルチップモード	MD=H
	ショート	ブートモード(SCI インタフェース)	MD=L

●: 出荷時設定

通常のプログラム実行モードは「シングルチップモード」となります。

SCI(TXD1, RXD1)からプログラムの書き込みを行う場合は、J6 をショートとしてボード電源を入れてください。

3. 付録

3.1. ボード寸法図

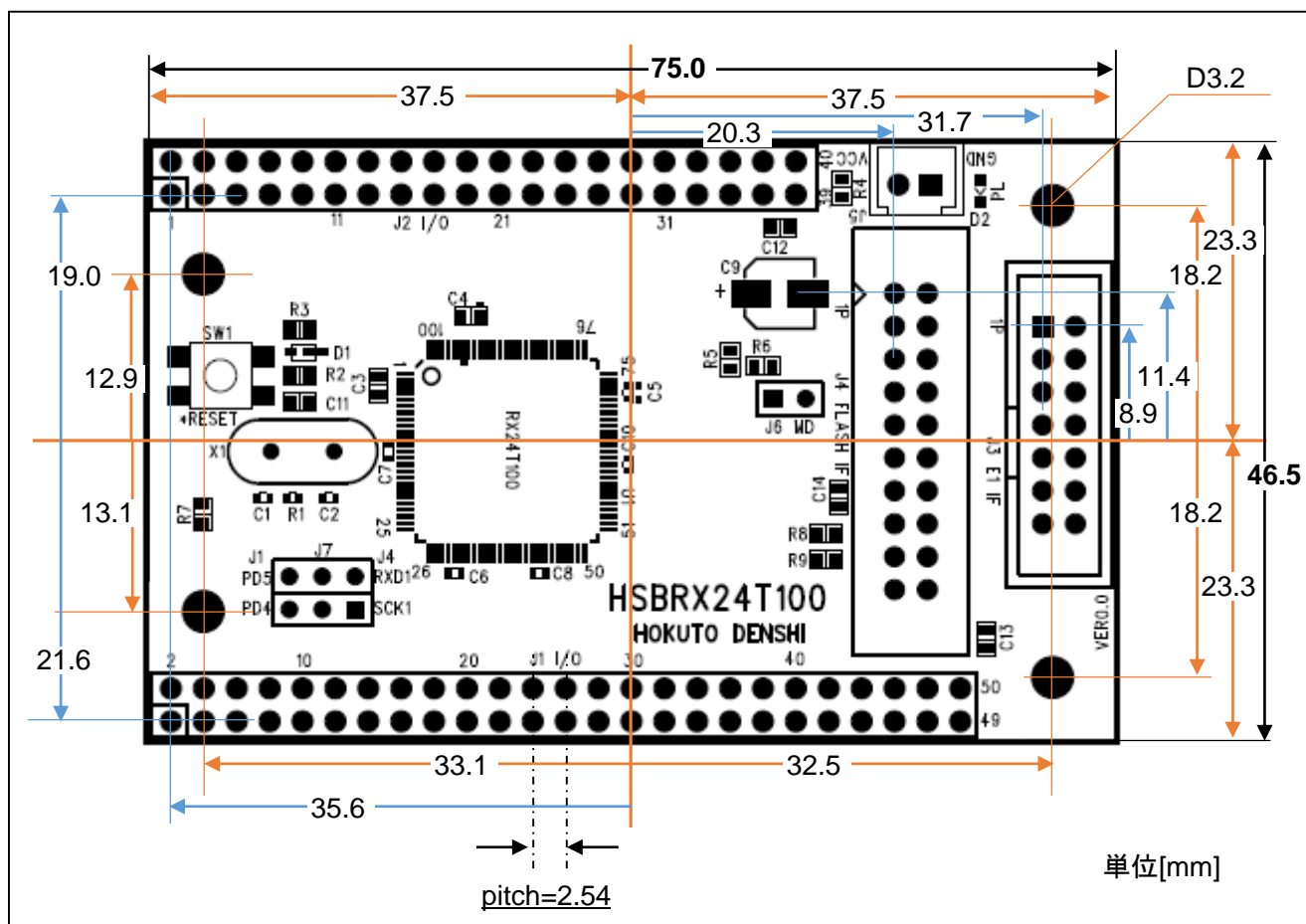


図 3-1 ボード寸法図

※図 3-1 は、100 ピンのボードですが、80 ピンのボードレイアウトも寸法、コネクタ位置は同一です

3.2. 初期設定

ボードは動作確認用として、デモプログラムを書き込んでおります。電源を供給するとボードの動作を確認できますので、内容については下記【デモプログラム内容】をご参照ください。

【デモプログラム内容】

TXD1, RXD1 を使用した、シリアルポートのエコーバックプログラム

J7-B 4-5 ショート(ジャンパピンで 3P 端子の右側ショート)

J7 オープン

J4 に USB-ADAPTER (別売オプション) を挿し、PC に接続し、シリアル端末 19200bps で接続すると
ボード起動時に

Copyright (C) 2016 HokutoDenshi. All Rights Reserved.

HSBRX24T-XX Test Program.

>

のメッセージが表示され、キーボードから入力した文字が、シリアル端末にエコーバックされます。

※画面に上記メッセージが表示されるものの、キーボードからの入力を認識しない場合は J6-B のジャンパを確認してください

※デモプログラムの動作確認の際は、一般的な USB-Serial 変換のハードウェアもお使いになれます
その際は、マイコンボードの PD3/TXD1, PD5/RXD1 に USB-Serial 変換のケーブルを接続してください

取扱説明書改定記録

バージョン	発行日	ページ	改定内容
REV.1.0.0.0	2016.7.11	—	初版発行
REV.1.0.1.0	2016.11.11	4	HSBRX24T-80 の発売予定という文言削除
REV.1.0.2.0	2016.11.16	6	表 1-1 搭載マイコン HSBRX24T-80 R5F524TAADFM → R5F524TAADFN に訂正

お問い合わせ窓口

最新情報については弊社ホームページをご活用ください。

ご不明点は弊社サポート窓口までお問合せください。

株式会社 **北斗電子**

〒060-0042 札幌市中央区大通西 16 丁目 3 番地 7

TEL 011-640-8800 FAX 011-640-8801

e-mail: support@hokutodenshi.co.jp (サポート用)、order@hokutodenshi.co.jp (ご注文用)

URL: <http://www.hokutodenshi.co.jp>

商標等の表記について

- ・ 全ての商標及び登録商標はそれぞれの所有者に帰属します。
- ・ パーソナルコンピュータを PC と称します。

ルネサス エレクトロニクス RX24T(QFP-100ピン, QFP-80ピン)搭載
HSB シリーズマイコンボード

HSBRX24T-100

HSBRX24T-80

取扱説明書

株式会社 **北斗電子**

©2016 北斗電子 Printed in Japan 2016年7月11日初版発行 REV.1.0.2.0 (161116)
